

2026 年 2 月 27 日 記者会見 発表内容

発表内容：役員異動について

日 時：2026 年 2 月 27 日(金) 16 時 00 分～16 時 35 分

場 所：埼玉県政記者クラブ

発 表 者：埼玉りそな銀行 代表取締役社長 福岡 聡

埼玉りそな銀行 取締役兼専務執行役員 篠藤 慎一

【冒頭挨拶】

(福岡)

本日は急なご案内にも関わらずお集まりいただきありがとうございます。4 月 1 日からの埼玉りそな銀行の新しい人事について公表させていただきます。

グループ全体の今回の人事の目的は、グループとして次世代の可能性を広げる経営の若返りを行うことが主眼です。また、中期経営計画が 2 巡し、現役社長として初の藍綬褒章をいただきました。りそなグループのパーパスである「金融+で、未来をプラスに。」や当社と埼玉県が目指す姿を現実のものとする優秀な次世代が育っているということで、今回の人事異動のタイミングとなりました。

私も埼玉りそな銀行という電車の車掌として 6 年間務めました。その後任としてもっとも望ましい、ふさわしい人物だと思っています。ぜひ新社長を応援していただければと思います。

(篠藤)

本日はお忙しいところ、お時間をいただきましてありがとうございます。4 月 1 日付で、埼玉りそな銀行の社長に就任することになりました篠藤です。

新型コロナウイルス感染症という未曾有の危機に直面した 2020 年のご就任以来、埼玉りそな銀行の舵取りを担われ、地域金融機関としての存在価値を一段と高めてこられた福岡社長に心から敬意を表したいと思います。社長に就任するにあたり、その責任の重さに、身の引き締まる思いであります。

当社は、福岡社長をはじめ歴代トップのもと、役職員一人ひとりが地域、お客さまと真摯に向き合い、長年にわたって築き上げてきた信頼と、揺るぎない絆を礎として歩んで参りました。私はまず、その大切な財産をしっかりと受け継ぐとともに、創業来掲げております、「埼玉県の皆さまに信頼され地元埼玉とともに発展する銀行」を目指し、「地域から最も必要とされ選ばれ続ける道徳銀行」として、存在価値を一層高めていくことが、私に課せられた最大の使命であると考えております。

一方で、社会構造や価値観など事業や暮らしを取り巻く環境は大きく変化しており、地域金融機関にはこれまで以上に変革と挑戦が求められています。地域の皆さまの期待に応え続けるためにも、守るべきものは守りながら、変えるべきものは果敢に変え、次の時代にふさわしい銀行像を追求してまいります。また、埼玉県ならびに各市町村と緊密に連携し、中小企業・スタートアップ支援や事業承継、産業振興による地域経済の活性化、子育て・教育、医療・福祉、環境といった暮らしを支える分野、さらにはデジタル化や防災、減災などの社会課題に対し、金融・非金融の両面から主体的に関与し、「日本一暮らしやすい埼玉」の実現に貢献していきたいと考えております。

渋沢栄一翁の掲げた「道徳経済合一」の理念を改めて胸に刻み、信頼を軸に、地域の皆さまとともに価

値を創り続ける「道徳銀行」の実践を通じて、地元埼玉の持続的な発展に貢献していく所存です。この想いを決意として、役職員の先頭に立ち、全力を尽くしてまいります。

皆さまには、変わらぬご支援・ご指導・お引き立ての程、よろしくお願い申し上げます。

以 上